

地区研究大会報告

東三河地区

東三河地区事務局員 鶴飼 俊二 (愛知県立豊橋工業高等学校)

令和 2 年度地区研究会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会を中止し、各校のオンライン授業の様子や取組などについてのアンケートを実施した。この際、知多地区のアンケート項目を参考にさせていただいた。以下にまとめた。

1 実施時期 令和 2 年 12 月 1 日から 12 月 25 日

2 各校のオンライン学習の取組と課題 (回答 27 校)

(1) 実践事例

- ・ YouTube による動画配信 (授業、学校紹介、クラス紹介など)
- ・ Zoom を使用 (新入生と学年団との顔合わせ、朝の ST など)
- ・ Classi を使用 (動画配信、課題指示、アンケートなど)
- ・ メールによる授業課題の配信
- ・ Google ドライブにオンライン教材をアップロード
- ・ 特にない(5)

(2) 家庭学習時期の生徒への連絡方法

- ・ スタディサプリ、ロイロノート(10)
- ・ メール、学校ホームページ(22)
- ・ 電話、郵便(11)

(3) 再開後の取組

- ・ 学校作成教材(7)
- ・ スタディサプリなど外部サービス(18)
- ・ 行っていない(4)

(4) 今後の取組や課題

- ・ スタディサプリ、G Suite などの利用の継続、検討中
- ・ CBT 方式のテスト、反転授業など
- ・ 動画等コンテンツの作成時間確保、教材の作成
- ・ 通常授業が行えるので必要性を感じない。
- ・ BYOD に係る使用機器やルール作り
- ・ インターネットや WIFI 環境が整っていない家庭への対応
- ・ スタディサプリのアカウントを生徒に配布してもほとんど利用していない。
- ・ 聾学校には字幕が必要な生徒もあり、聾学校に合った形を考えたい。
- ・ 入院や登校できない生徒の学習機会の保障。保護者の負担 (特別支援学校)
- ・ 教員のスキルアップ。勉強会。生徒の情報機器活用能力の保障
- ・ 情報機器、PC、タブレットの管理運営の教員の負担。一部教員の負担が増える。
- ・ 機器のみの環境整備を急いでも教員研修が済んでいない。